



マークの付いた行事は「石狩市 市民生活便利帖(動画版)」でもご紹介しています。 <http://benri.i-eris.tv/>



マークの付いた行事は「えりす いしかりネットテレビ」でもご紹介しています。 <http://www.i-eris.tv/>

3/28(金) 避難訓練

浜益区送毛で津波を想定した避難訓練が行われました。穏やかな春の日に訓練開始のサイレンが鳴り響くと、参加者11人は高台にある国道231号沿いのバス停前へと向かいました。津波はジェット機並みの速さで、繰り返し襲来するといわれています。そのため、訓練では皆、荷物をまとめたりせず、身一つでいかに迅速に避難するかを実践。訓練後は避難所である送毛会館に集まり、災害備蓄品などを確認して、解散となりました。

Voice

送毛地区は住んでいる人も少ないし、年寄りも多いけど、昔から災害が起きた時はみんなで助け合っているって話しています。(送毛自治会会長 羽二生良一さん)



3/30(日) 北海道にまちができるまで

市民図書館が開いた講座「近代の北海道開拓～市街地と農村～」。

講師は以前、浜益の開拓についてお話いただいた元開拓記念館学芸部長の関秀志さん。今回はテーマをさらに北海道全体へと広げ、北海道では農地と市街が同時に造られ、どのまちも機能的であること、農家は1戸5町歩とし、6戸ごとに道路や防風林が造られたこと、市街もまた役所や学校、商店に至るまで計画的に造られたことなど、興味深い話が紹介されました。

Voice

関先生とは個人的に交流があり、テーマにも興味がありましたので参加しました。明治26年に実施した生振村の植民地区画は、選定の対象となったのが明治20年だったことなど、具体的で分かりやすかったです。(村山耀一さん)



4/1(火) 「あつた! 厚田のほん」の完成

厚田の“土地、味覚、らしさ”にこだわって活動する「あつたこだわり隊」が、1年かけて作り上げた観光情報誌「あつた! 厚田のほん」がこのたび完成しました! 区内の飲食店や観光スポットなど、厚田の情報がいっぱい詰まった1冊です。冊子は、厚田中心部の十字路街商店街に開設した情報発信基地「あつた!」で配布しているほか、厚田区内の飲食店を中心に設置しています。ぜひ皆さんもご利用ください!

Voice

右も左も分からない中、とにかく見やすく、分かりやすいものを目指して一生懸命作った初めての冊子です。厚田に住んでいて意外と知らないお店なども紹介しています。ぜひご覧ください! (左から小山典子さん、高畑幸恵さん)



4/13(日) 石狩市手話条例制定記念フォーラム



道内各地から手話関係者を含む約700人が花川北コミセンに集まりました。この日は、NHK「みんなの手話」に出演する早瀬憲太郎さんを講師に迎えた基調講演が行われたほか、手話言語法の制定を目指した取り組みの報告がありました。また「北の国からメッセージ」と題して、石狩市に次いで手話条例を制定した新得町の浜田町長が田岡市長とともに、市民に手話を親しんでもらうためにできることは何かを熱く語りました。

Voice

手話条例のことを知人から聞いて参加しました。この日は、ろう者の方も多数参加していて大変有意義だと思いました。市民がもっと関心を持って手話を学び、ろう者への偏見がなくなればお互いの関係もきっと良くなりますね。(札幌市の近藤淳市さん)





まちの主な出来事を写真で振り返ります。

まちの話題



3/15(土)・16(日) いしかりリフォームフェスタ2014

花川北コミセンで、市内のリフォーム店など13社が勢ぞろいしたイベント。地元の企業や工務店を市民に知ってもらおうと実行委員会が主催したもので、太陽光パネルや外壁のサンプル、トイレや玄関ドアなどが展示されました。来場者は日ごろから気になっている自宅のリフォームについて各企業に相談したり、見積もりを依頼。ほかにもお食事コーナーやご当地ヒーローショーなどもあり、会場は家族連れでにぎわっていました。

Voice

リフォームに関わる悩み・相談ごとが1日で解決するイベントを目指して、開催しました。お客様が相談しやすい空間を作るため、各社で飾り付けを工夫し、その結果、例年よりお客様の滞在時間は長くなったと思います。(実行委員長 酒井一誠さん)



3/21(金・祝) 石狩のグルメが集まる味本市 みほんいち

JAいしかり地物市場「とれのさと」で行われた地産地消のイベントで、22店舗がジャガイモや小麦粉、ソーセージやトマトピューレなど石狩産の食材や加工品を販売しました。3回目の今年は、市の6次産業化を推進する事業に参画する商品も登場し注目を集める一方、会場に設けられた飲食スペースでは、人気のホタテ焼きや望来豚の豚骨ラーメンもあって、雪の降るあいにくの天候にもかかわらず、家族連れの姿が多く見られました。

Voice

石狩のどういうものが売っているのか気になって、今回初めて来ました。全部のお店を見て回って、高岡産のチコリや浜益産黒毛和牛肉、浜益のりんごなどたくさん買っちゃいました。(川崎一昌さん・美幸さん)



3/26(水)~4/4(金) 姉妹都市キャンベルリバーへ!

1987年から続く「キャンベルリバー少年少女親善訪問団」は、27年目を迎えた今年も市内在住の小・中学生25人と引率者5人が姉妹都市であるカナダ・キャンベルリバー市を訪れました。滞在中はホームステイをしながら、市内の高校や消防署、博物館などを見学し、子どもたちは英語のシャワーをたっぷり浴びました。バンクーバーでは満開の桜に感動し、充実した8泊10日間を過ごした一行は全員笑顔で帰国しました。

Voice

初めてスノーシューを履いて往復2km歩いたり、ホームステイ先の家族とゲームを楽しんだり、いろんな話ができて、すごく楽しくかったです! カナダでとてもいい経験ができたので、とても良かったと思います。(茶木未来さん)



3/28(金) サケの稚魚を放流

資源の保護活動に積極的に取り組む石狩湾漁業協同組合浜益支所では、写真のようにサケの稚魚がすくすくと元気に育っていました。漁師さんから1日5回にわたって餌を与えられ、外敵からも守られながら大切に育てられた稚魚たちは、大きくなった順に浜益川へ放流されます。その数は300万尾におよび、4~5年後には再び浜益川に遡上して、立派に成長した姿を私たちに見せてくれることでしょう。

Voice

稚魚たちは見るたびに大きく育っています。こうして少しでも魚体を大きくしてから放すと、川に帰ってくる確率が高くなるそうで、4年後、5年後がとても楽しみです。(石狩湾漁協浜益支所 佐々木祐哉さん)

